



**富士中だより** 三田市立富士中学校  
令和7年7月18日 第5号

＝学校教育目標＝  
「夢や希望を持ち、たくましく生きる生徒の育成」  
真 善 美

≪ 8月の行事予定 ≫

日	曜	行事等	講師等	給食
1	金	児童生徒交流会 ・ノー部活ディ		
2	土			
3	日			
4	月	午前部活動無し		
5	火			
6	水			
7	木			
8	金			
9	土			
10	日			
11	月	山の日 ・吹奏楽コンクール県大会(アクリ工姫路)		
12	火			
13	水	学校閉鎖		
14	木			
15	金	↓		
16		弥生が丘夏祭り		
17	日			
18	月			
19	火			
20	水			
21	木	午後部活動無し		
22	金			
23	土	三田幸せプロジェクト		
24	日			
25	月			
26	火			
27	水			
28	木	2学期始業式 ・ノー部活ディ		
29	金	実力・課題考査 ・2学期給食開始		1・2・3
30	土	丹有新人(陸上競技) ・資源ゴミ回収		
31	日	↓		

子サ：子どものサポーター 〔最終下校〕 17：30・夏季休業中は16：30  
SC：スクール・カウンセラー、SW：スクール・ソーシャル・ワーカー

\*自動音声応答メッセージ対応…〔17：30～7：45〕  
土、日、祝日・学校閉鎖日は、終日となります。

欠席・遅刻などのご連絡に、まなびポケットの運用を開始しています。お電話の場合は7：45～8：15までの間に願います。どちらも保護者様から願います。ご連絡がない場合は生徒の安全確保のため、緊急連絡先に連絡させていただきまので、ご理解、ご了承下さい。

9月の予定  
1 丹有新人(陸上競技)予備日 2 専門委員会 3 全校集会 11 結団式・テント設営  
12 2年校外学習 18,19 市新人大会壮行会(放送) 18 避難訓練  
27,28 三田市新人大会・県新人大会(陸上競技)  
29 新人大会予備日・テント設営・予行準備 30 体育大会予行

命尊し

8月6日はヒロシマに、8月9日はナガサキに原子爆弾が投下された日です。  
3年生のみなさんの中には、小学校と中学校の修学旅行でどちらも訪れた人が多くいることと思います。

8月6日、朝、8時15分。ヒロシマ市に世界で初めて原子爆弾が落とされ、10万人以上が亡くなりました。その後も毎年のように病気で亡くなられています。8月9日、昼、11時2分。ヒロシマ市、投下から3日後、ナガサキ市にまた原子爆弾が投下されました。そして、再び多くの人の命が奪われてしまいました。

あれから何十年経つのでしょうか。今もなお原爆の後遺症で亡くられる方がいます。悔しい思いは想像を絶すると思います。そして、このときヒロシマで被爆したために結婚の差別を受けた方々も多くいます。日本は世界で唯一の被爆国です。わたしたちは、この恐ろしく、そして悲惨な事実を深く、厳しく見つめる義務があります。そして人間のもっともおろかな行為である「戦争」というものを2度と起こしてはならないのです。

鹿児島県にある知覧の特攻平和会館を訪れたことがあります。10代の若者も多くいた若い特攻隊員が、知覧から出撃する前に書いた遺書がたくさん展示してあります。愛する家族などにあてた手紙を読んでいくうち、自然と涙があふれました。出撃の前日には富屋食堂という小さな食堂で、御馳走をふるまわれます。その食堂のおばさんが、散っていく若い命をみて残された言葉があります。

「なぜ生き残ったのか考えなさい 何かあなたにしなければならないことがあって 生かされたのだから」 富屋食堂 特攻の母  
私自身、自分の生き方を考え直す大きなきっかけとなりました。今、生かされている私たちは何を残していくのでしょうか。

「人の命は地球より重い。」と誰かが言いました。けれど、どうしてこんな悲しいときにしか、そのことを思い出せないのでしょうか。どうして、こんなくやしいときにしか思い出せないのでしょうか。

自分が今日も生きている。明日も、あさっても生きている。ごはんを食べて、空気を吸って確かに生きている。  
「生きる」ことを当たり前のことのように。「生きている」なんてまるで他人ごとであるかのように感じながら。

戦争が、地震が、飢えが、病気が、交通事故が、自然の災害が、友の命を奪い、家族の命を奪い、「突然」いなくなったとき。  
そんな悲しいとき、そんな悔しいときにしか、命の重さを感じる、伝えることができないなんて。

今の世界情勢はとても危険なふうに感じている人たちがたくさんいるのではないかと思います。  
この夏休みに、みなさんが平和について少しでも考える時間を持ってくれたら、と願います。  
青い空は、青い空のままで君たちに残っていてほしい。わたしたちのあとにつづく人たちのためにも…。

さて、明日から夏休みです。田舎へ帰省する人、映画をたくさん見たり、読書をする人、スポーツや習い事に取り組む人、進路を考え心機一転勉強に取り組む人。それぞれの夏があります。

1学期にそれぞれの学年で大きな行事があり、期末テストも終わりました。その中には、「ああ、失敗したな」と思ったこともあるでしょう。失敗することは決して悪いことではありません。むしろ、人間は「失敗」からたくさんを学び進歩してきたという歴史があります。だから、決して「自分はダメ」というふうには思わないで、自分で思いつかなくても何かひとつでもがんばったことがあるはずですし、どんな人でもひとつやふたつ、いいところは必ずあります。

だから、「自分ってすごい」と感じてほしい。すぐに思い出せなくてもきっと何かしらがんばったことが必ずあります。前にも言いましたが、君たちは一人ひとりが大きな強い願いを受けて、生まれてきた人たちなのですから。そのことだけでも素晴らしいことなのです。

総体の写真を掲載します。必死にがんばる君たちの姿を見て、すごく感動しました。真剣に頑張っている姿は、やっぱり、「カッコいいな」とつくづく思いました。感動をありがとう。

# 総合体育大会



学校 HP